



熊本市立大江小学校

ときめき

2022.12.22(木)

No.133



文責
松永

道徳・学級活動の研究授業がありました

各学年で、道徳科と学級活動の研究授業に取り組んできました。それぞれの学級の実態のもとに、課題に目を向けたり、どんな力を付けたいのかを考えたりして、授業づくりをしました。どの学級の研究授業も、いろいろなアイデアがいかされていて、大変勉強になりました。なお、2月10日には研究モデル校として、4学級で授業公開をする予定になっています。



1年4組の植田学級の道徳は、11月15日に「にんじんばたけで」の教材を使つての授業でした。主人公の心の動きや迷いに目を向け、よくない判断をしてしまった場合のもやもやした気持ちや、よい判断をした時のすがすがしい気持ちを考えることを通して、よい判断や行動をするよさに気付いていきました。途中、えのもののぬいぐるみが登場して、子どもたちの考えを引き出すのに、一役買っていました。学習シートには、「正しいことをすると、あとでよかったなと思える」「誰かがしていたとしても人のまねはしない」と書いていたように、よいと思ったことは進んで行おうという気持ちの高まりが見られました。



12月15日には、4年4組で「クラスの仲間と協力し、ふれあいパークを成功させよう」という議題の学級会がありました。ふれあいパークに向けて、準備は進んでいるものの、うまくいかない店やみんなが協力し合えていない現状から、今一度ふれあいパークに向けた具体的な計画を立てようということで、話し合いが展開されました。「みんなが協力して助け合えるクラス」をキーワードにして、それぞれのチームがあげている課題について解決方法を考えていきました。残念ながら、ふれあいパークは学級で遊ぶことになりましたが、みんなで課題解決に向けて話し合い、実行したことで、クラスのまとまりが深まったことは間違いありません。



授業後には先生方で振り返りを！